



枕崎ぶえん鯉

枕崎市漁協に 内閣総理大臣賞

農林水産省などが主催する平成18年度農林水産祭の表彰者が10月17日に決定し、水産部門の内閣総理大臣賞に枕崎市漁協が選ばれました。

同漁協は、昨年4月から全国に先駆け、一本釣りしたカツオを船上で活け締めにしてフラインド凍結した「枕崎ぶえん鯉」を開発、販売。昨年11月の県漁業振興大会水産物品評会では、最高賞の農林水産大臣賞を受賞しており、不振の続く水産業界の先例例として高く評価されています。

「枕崎ぶえん鯉」は、船上で生きたままのカツオを機械装置で活き締め脱血した後、フラインド凍結したもので、鮮度が保持されて色合いもよく、B1カツオを超えた刺身用冷凍カツオとして人気です。

大変光栄なこと 白窪義広次長

これまでの刺身用B1カツオも、20年前に全国に先駆けて開発し広がりました。しかし近年では価格が低迷し、なんとか付加価値のあるものをつくり状況を打開したいときに、自営船第3協洋丸が活き締め装置を導入し、「枕崎ぶえん鯉」を開発しました。

この受賞をきっかけとして、高級志向の販路を広げていきたい。また、県産ブランドに認定されるように取り組んでいきたいと考えています。



枕崎市漁協代表
白窪義広次長



中村英嗣さん (保育士)

「まくらざき保育園に明るく元気のない男性保育士さんがいる。ぜひ取材して」という八ガキを頂きました。その保育士さんは中村英嗣さん (29)。早速お話をうかがいました。



中村さんは川辺町出身の加世田在住。今年、5年間勤務した別府保育園からまくらざき保育園に赴任され、同保育園の主任保育士として活躍されています。

■保育士になるきっかけは？
実家の周りに幼い子どもが多く、よく一緒に遊んでいて、昔から子どもが好きでした。男性保育士も増えてきており、自分も保育士にならなうと思っていました。

■保育士をしていてよかったと思うことは？
毎朝、子どもたちから「おはようございます」という元気なあいさつ、たくさんさんの笑顔をもたらして励まされています。また、子どもたちが最初にできなかったことが、いつの間にかできるようになっているなど、毎日たくさんの子どもの成長を見守れることが楽しみです。



中村さんは、子どもたちから「ビデオ先生」と呼ばれて親しまれていて、投稿された方のおっしゃるとおり、とても明るくて笑顔の似合う熱心な保育士さんでした。

(この記事は職場体験学習の2人に手伝ってもらいました)

防災訓練

大規模災害を想定し、連携を強化

枕崎市総合防災訓練



医師会等による集団災害訓練

枕崎市総合防災訓練が10月28日、枕崎漁港東側岸壁付近で行われ、消防や医師会、警察、市民など約3000人が参加しました。この訓練は、地震、津波、火災等が発生した場合、関係機関が連携して災害に適切した処置が迅速適切に行えるよう訓練し、防災対策の確立を目的として行われたものです。

訓練は、マグニチュード7の大きな地震が発生し、それによる津波や火災の被害が発生したことを想定して行われ、情報伝達、避難誘導訓練など8種目を実施しました。このうち自主防災組織消火訓練では、地震により木造家屋が出火したことを想定し、市内の31の自主防災組織等から88名が参加して



自主防災組織によるバケツリレー



ARTSにMBC賞

3枚目のアルバム「SKANNIVERSARY」



MBC南日本放送が主催する第39回MBC賞に、枕崎のスカバンド「ARTS」が選ばれ、表彰式が10月11日に鹿児島市のホテルで行われました。

この賞は県内の学術・文化・経済・スポーツ等の発展のために活躍している団体、個人を表彰するもので、本市からはこれまで「枕崎花き振興会」や「南浜館」が受賞しています。

「ARTS」は社会人バンドでありながら県内はもとより全国各地でライブ活動を続け地元PRを行い、「きばらん海」にも毎年出演するなど地元を盛り上げており、地域活性化に貢献していることが評価されました。

CD・DVDも精力的に制作し、今年9月には3枚目のアルバム「SKANNIVERSARY」も発売するなど、オリジナル曲は百曲を超えます。代表の井上良久さんは「好きな音楽を続けてきた結果、このような賞をいただき大変うれしい。これからより良い音楽を演奏することで、皆さんに還元していきたい」と喜びのことばを述べていました。



ARTS代表
井上良久さん
ARTSホームページ
<http://ska-arts.com>